

# ASEAN地域でSDGsを実現する、 金融包摂型FinTechサービス

Global Mobility Services代表取締役社長

中島徳至  
なかしま とくし



## 貧困層から抜け出すことが できない人々

アジア開発銀行（ADB）は、2021年の東南アジアの経済成長率を4.4%と、前年のマイナス4.0%から大きく回復する予測を2021年5月に発表した。ミャンマーを除く全ての国がプラス成長という予測であり、成長著しいASEAN（東南アジア諸国連合）地域は今後さらなる発展を遂げることが期待されている。

一方で現地に足を踏み入れると、同地域に生きる人々が皆その成長の恩恵を受けることができている訳ではなく、貧困に喘ぎながら親子3代にわたって貧困の連鎖が続くという家庭も未だ多く存在する。所得を向上させ生活を豊かにしたいと願いながらも経済の発展から取り残されているという、SDGsの第1のターゲットである「貧困をなくそう」を掲げる取り組みが切に求められている地域で

あるというのもまた、ASEANの1つの姿でもある。

例として、弊社GMSが事業を開始したフィリピンにおいては、銀行口座を保有していない人口が国全体の7割を超え、多くの人々が金融サービスにアクセスすることすらできない現状が存在している。

貧困を脱するために中程度の所得を獲得できる職に就業したくとも、就業に必要な金融サービスを活用することができず、就業の機会を掴むことさえも困難であるという人々が後を絶たない。そのような現状を目の当たりにし、この社会課題解決を経済合理性のある事業として取り組んでいるのがGMSの金融包摂型FinTechサービスである。

## テクノロジーを活用した信用創造

GMSは、独自のIoT技術を活用し、タクシーや物流などの車を活用した仕事に就業したいと切望する貧困層が、車の購入資金分

のローンを受けることを可能にするFinTechサービスを開発した。車のエンジン起動を遠隔で制御することのできる独自のIoTデバイスと、クラウド上でデバイスからGPSをはじめとする車両情報を収集し、ビッグデータ分析や決済システムとの連携を実現するプラットフォームシステムにより、借り手のローン返済が滞った際には遠隔でエンジンの起動制御を行い、利用者がコンビニなどで支払いを行うと自動で起動制御を解除する仕組みにより支払いを促すとともに、リアルタイムで車両の位置情報を特定し、万が一の際には確実に車両を回収することを可能にしている。これにより延滞率およびデフォルト率を大幅に減少させることを可能にしており、例としてフィリピンのトライシクル（三輪タクシー）ドライバー向けのローンにおいては、従来同様のサービスのデフォルト率が20%にも上るマーケットで、GMSのFinTechサービスを活用したローンは0.9%にまでデフォルト

図表1 フィリピンの実情



貧困層が、貧困から抜け出せない構造的な社会課題が存在

Notes:  
 1. Bangko Sentral ng Pilipinas (2017) "FINANCIAL INCLUSION SURVEY" % of adults without an account  
 2. Survey of Philippine Statistics Authority (2015). Approximately 257K PHP. FX Rate: 1PHP=0.0186USD (As of 2018/10/24). Average Family Income.  
 3. Clean Air Initiative For Asian Cities, Inc. (2011) "COST-BENEFIT ANALYSIS OF TECHNOLOGY AND REPLACEMENT OPTIONS FOR 2-STROKE THREE WHEELERS IN THE PHILIPPINES"

図表2 GMSが提供する価値



さらに、金融のみでなく、関連する様々な業界に価値をもたらしており、代表的なものが自動車業界である。従来はローンを組めなかった貧困層がローンを活用できることにより、車両販売台数の増加を実現し、従来は販売対象とは成り得な

かった顧客層の開拓を金融機関と同様に実現している。加えて自動車販売台数の増加により、整備業や中古車流通業をはじめとするアフターマーケット業界にも新規顧客増加の価値をもたらしており、金融機関とGMSによる営業努力のみならず、自動車業界も交えたサービスの普及を促進させるための自律的な循環が発生している。

さらには、金融のみでなく、関連する様々な業界に価値をもたらしており、代表的なものが自動車業界である。従来はローンを組めなかった貧困層がローンを活用できることにより、車両販売台数の増加を実現し、従来は販売対象とは成り得な

難であった顧客層に対する収益性の高いローンの提供を実現しており、金融機関に新たな顧客層の開拓という価値を提供している。現在はフィリピン、カンボジア、インドネシア、日本の4カ国で各国の金融パートナーと提携し事業を行っている。

そしてこの循環を自国内で生み出したいと考える政府自治体もまた、サービスの普及を促進する役割を担っている。金融や自動車業界を中心に経済が活性化する他、GMSが提供するサービスは、「仕事に就業するため」に車両を必要とする貧困層を対象にしていることから、貧困の削減並びに雇用の創出を実現する点が、各国政府自治体から強く期待されているのである。

金融業界、自動車業界、政府自治体、そして何より貧困を脱するドライバーとその家族、そしてその環境を構築し持続可能な社会を実現するGMS自身も含めた「五方良し」のサービスであると言える。

率を抑えることに成功している。そのために、従来は金融機関が信用に乏しい貧困層を返済能力のない人として評価し審査否決としていたところを、アセットである車とそれを活用し就業することにより生み出される収入までを含めた「ゴト」を評価した与信審査を行うことを可能にし、従来はローンを組むことが困難であった貧困層がローンを活用し車を購入して就業できる仕組みを構築している。

また、収集するビッグデータを分析することにより、ローンの返済情報のみでなく、1日の就業時間から就業態度に至るまであらゆる借り手の情報を可視化することが可能になり、それによって勤勉なドライバーに対する信用補強を実現し、教育ローンをはじめとする生活を豊かにするための金融サービスの利活用機会をも創出している。

### 「五方良し」のビジネスモデル

GMSの取り組みにより、恩恵を受けたドライバーの総走行距離は2億7千万kmを超え、実に地球6700周回分(2021年7月末時点)に相当する。これまで金融機関に対しては、従来ローン提供が困難であった顧客層に対する